地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

静岡県浜松市

自治体の課題、現状

・本市は令和8年3月現在、人口は約777,000人、市立中学校は49校設置している。市の人口減少とともに、中学校生徒数も10年前より約3,000人減少している。
・市立中学校の部活動は、従来より盛んに行われており、令和7年度の加入率も約80%と高い水準（総部活数616部活（運動部460部活））を保っているものの、部員数減少や合同チームの増加が顕著に見られている。
・そこで、令和元年度に「中学校地域クラブ」を設置した。この中学校地域クラブは、顧問（教員）が関わらないことを前提に、休日に保護者会や地域が自主的に運営する形で発足した組織である。令和7年度7月現在で144クラブが登録しており、受け皿の軸として期待している団体であるが、市認定地域クラブへの移行を見据えるクラブは30%に満たず、指導者の確保や報酬、運営の負担や大会参加等に不安を抱えているクラブが多いことが分かっている。

地域クラブ活動等の概要

中学校数	49校	全生徒数	19,820人
域内の部活動数	460部	実施した地域クラブ数	8クラブ
全体の指導者数	30人	全体の運営スタッフ数	30人
主な運営団体	NPO法人浜名湾游泳協会、天竜中地域クラブ（YCT）、浜松Amigoバレーボールクラブほか、各地域クラブ等		
主な種目	陸上、水泳、サッカー、バレーボール、卓球、野球、ソフトボール等		
平均的な活動回数	4回程度/月	年間平均参加生徒実数	3年：5人/クラブ 2年：7人/クラブ 1年：10人/クラブ
参加会費	250円～5,000円/月	主な活動場所	学校施設、公共施設等

取組の概要や成果

・令和8年9月の休日の部活動の地域展開に向け、令和7年度の実証事業では、以下の事業に取組、あらためて課題の洗い出しと、課題解決に向けたポイント整理を行った。

①市認定地域クラブ立ち上げのモデルケースを確立
※公募により選定した「地域クラブ」に対し必要なサポートを行うなど支援メニューを標準化

②指導者の質の保障と量の確保
※地元大学と連携し、指導者研修動画を制作。指導開始前のオンライン受講を義務化

③オール浜松で「休日の部活動の地域展開」に取組む体制を整備
※地元企業や関係団体との意見交換等を行い、令和8年度以降の協力体制を構築

④市認定地域クラブの認知度向上等に関する取組
※ガイドラインを説明したリーフレットの作成や、小中学生を対象にしたワークショップを開催

⑤地域クラブポータルサイトの運用開始に向けた特設サイトの構築
※地域クラブポータルサイトにどのような機能を実装するか特設サイトをベースに議論を重ね、次年度以降に構築予定のポータルサイトの構築を進めた。

運営体制図

